

令和5年度

特定非営利活動法人 光の岬福祉研究会

ひかりの岬こどもデイサービスセンター利用児童の
保護者による評価調査報告書

調査概要

1. 目的

去る平成 29 年 1 月、厚生労働省によって「放課後等デイサービスガイドライン」の遵守と自己評価結果の公表に関するガイドラインが出されました。

また、平成 29 年 4 月より児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準（平成 24 年 2 月厚生労働省令第 15 号）の規定により、障害児通所支援事業者に、自己評価等の公表が義務付けられたことを受け、法人の運営する放課後等デイサービス事業所 2 カ所の利用者を対象に、事業所が提供しているサービスについてどのように感じているのか、その現状を把握するとともに、その改善点を明らかにし、事業所運営の参考にすることを目的に調査を実施した。

2. 調査対象

放課後等デイサービスを利用している児童の保護者 31 名を対象に調査を実施した。

25 名から回答があり、回収率と有効回答率は下記のとおりである。

回収率 80.6% 有効回答率 100%

3. 調査期間

令和 6 年 1 月 22 日（月）～令和 6 年 2 月 9 日（金）

4. 調査方法

厚生労働省による「放課後等デイサービス自己評価票（事業者用）」のチェック項目を基に、5 件法および自由記述で回答いただいた。調査は調査票に記入していただく方式とし、事業所の担当者から各保護者に調査依頼文書等とあわせて配布した。

調査票の回収は、個人が特定できないようにし、調査票と共に配布した返信用封筒にて郵送していただいた。

5. 倫理的配慮

調査票の回収は匿名で行い、個人が特定されないようにした。

ひかりの岬こどもデイサービスセンター保護者評価集計表

回収率80% 有効回答数25名

	チェック項目	そう思う		どちらかと言えばそう思う		どちらとも言えない		どちらかと言えばそう思わない		そう思わない		無回答	
		人数(人)	構成比	人数(人)	構成比	人数(人)	構成比	人数(人)	構成比	人数(人)	構成比	人数(人)	構成比
①	この事業所は、児童の人数に対して、訓練含む活動のスペースが十分に確保されていると思う。	10	42%	14	58%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%
②	この事業所の職員数は児童の数に対して十分に適切である。	8	33%	12	50%	5	21%	0	0%	0	0%	0	0%
③	この事業所の設備は、バリアフリーの観点から見て適切な配慮が、十分になされている。	3	13%	12	50%	6	25%	4	17%	0	0%	0	0%
④	この事業所は、保護者に支援内容や利用者負担など、利用に必要な情報について丁寧な説明を行っている。	17	71%	7	29%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%
⑤	この事業所は児童や保護者からの苦情にどのように対応するかを丁寧に説明している。	15	63%	9	38%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%
⑥	この事業所は個人情報の管理体制について、保護者に説明している。	17	71%	6	25%	2	8%	0	0%	0	0%	0	0%
⑦	この事業所は定期的に、活動概要等の情報や自己評価結果など、事業所の運営に関する情報を児童や保護者に公開している。	18	75%	7	29%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
⑧	この事業所は児童と保護者のニーズや課題を放課後等デイサービス計画に反映している。	16	67%	9	38%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
⑨	この事業所は活動プログラムがパターン化しないような工夫をしている。	13	54%	8	33%	4	17%	0	0%	0	0%	0	0%
⑩	この事業所は地域住民や障害のない児童など、事業所外との交流を行っている。	4	17%	14	58%	6	25%	1	4%	0	0%	0	0%
⑪	この事業所の職員とは、日頃から児童の発達や課題について、共通理解をもっている。	15	63%	7	29%	2	8%	1	4%	0	0%	0	0%
⑫	この事業所では必要に応じて保護者に対する面談を行っている。	19	79%	5	21%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%
⑬	この事業所では、保護者同士の連携が支援されている。	1	4%	5	21%	16	67%	3	13%	0	0%	0	0%
⑭	この事業所は、児童や保護者からの苦情に対して、迅速かつ丁寧に対応している。	17	71%	6	25%	2	8%	0	0%	0	0%	0	0%
⑮	あなたはこの事業所の緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルをよく理解している。	7	29%	12	50%	4	17%	2	8%	0	0%	0	0%
⑯	この事業所は非常災害の発生に備え、必要な訓練を定期的に行っている。	7	29%	12	50%	6	25%	0	0%	0	0%	0	0%
⑰	あなたからみて、子どもはこの事業所への通所を楽しんでいる。	21	88%	4	17%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計を踏まえた対応等について

	チェック項目	調査結果から感じた対応について
①	この事業所は、児童の人数に対して、訓練含む活動のスペースが十分に確保されていると思う。	活動内容における各部屋の使用目的を明確にしつつ、子どもたちが混乱なく過ごせるようにしていく。
②	この事業所の職員数は児童の数に対して十分に適切である。	中立的な回答が若干多めのため、利用している人に適切だと思ってもらえるように心がける
③	この事業所の設備は、バリアフリーの観点から見て適切な配慮が、十分になされている。	設備としては、玄関スロープ、身体介助用のスペース等が必要と考えられる。人的サポートは常に意識する。
④	この事業所は、保護者に支援内容や利用者負担など、利用に必要な情報について丁寧な説明を行っている。	ほぼ行われていると考えられるが、今以上に分かりやすい説明を意識する。
⑤	この事業所は児童や保護者からの苦情にどのように対応するかを丁寧に説明している。	肯定的な回答が多いので、今後も丁寧な説明を心がける
⑥	この事業所は個人情報の管理体制について、保護者に説明している。	肯定的な回答が多いので、今後も丁寧な説明を心がける
⑦	この事業所は定期的に、活動概要等の情報や自己評価結果など、事業所の運営に関する情報を児童や保護者に公開している。	HP上での情報開示が認知されてきていることを感じる。それ以外での発信も心掛けるようにする
⑧	この事業所は児童と保護者のニーズや課題を放課後等デイサービス計画に反映している。	今後も面談時の確認、見直し、申し送り時の情報等を参考にしていく。
⑨	この事業所は活動プログラムがパターン化しないような工夫をしている。	活動が、パターン化、マンネリ化しない様心がける。
⑩	この事業所は地域住民や障害のない児童など、事業所外との交流を行っている。	共生社会を実現させるためには、交流も必要になってくるが、望ましい形を考えていく。
⑪	この事業所の職員とは、日頃から児童の発達や課題について、共通理解をもっている。	今後も普段の家庭への申し送りや職員間の申し送り、メール等を活用し、情報共有していく。
⑫	この事業所では必要に応じて保護者に対する面談を行っている。	年一回の面の他、気軽に相談できる環境を整えたい。
⑬	この事業所では、保護者同士の連携が支援されている。	保護者会のような会も必要なのか？ニーズの把握をするようにする。
⑭	この事業所は、児童や保護者からの苦情に対して、迅速かつ丁寧に対応している。	苦情等には、早めに丁寧に対応し、職員間の認識、周知を高めていきたい。
⑮	あなたはこの事業所の緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルをよく理解している。	要約した物を各家庭に配布してあるが、詳しいマニュアルを閲覧してもらえるようにしていく。
⑯	この事業所は非常災害の発生に備え、必要な訓練を定期的に行っている。	HPや連絡帳等でも訓練の様態を伝えられるように工夫する。
⑰	あなたからみて、子どもはこの事業所への通所を楽しんでいる。	ありがたいことに、回答から、ほぼ全ての児童が楽しんでくれていると考えられる。

【備考】